

平成 29 年 6 月 29 日

日本船主協会（総務部）

「港湾空港技術研究所」見学会にて海運の重要性や船の活躍について講話

日本船主協会は、海運など海事産業の重要性を一般の方々に広く伝える広報活動に力を入れております。

今回、日本の海事産業を支える港湾施設に係る高い技術研究を通し、日本にとっての海運の重要性を、青少年を中心とした一般の方々に理解して頂くことを目的に、日本海事広報協会と連携し、港湾空港技術研究所の協力のもと、6月13日（火）、6月16日（金）、6月20日（火）の3日間にわたり、「防災」をテーマとした総合学習の一環として、同施設を訪れた横須賀市立野比東小学校6年生およそ90名を対象に、共同見学会を実施いたしました。

参加者はコンクリート等の海洋環境下での耐久性を研究する暴露試験施設や津波、高波等の研究を行う大規模波動地盤総合水路を見学後、会議室にて日本にとっての海運と港湾の重要性、東日本大震災時の船の活躍などの紹介を受けました。

見学会に参加した児童達は、普段見ることのできない研究施設に驚きながら、真剣に研究者の方々の説明に耳を傾けていました。その後、会議室で講話を受けた児童達は講師からの質問に積極的に手をあげ答える姿がみられました。



当協会では、今後もわが国の暮らしと産業を支える海事産業を広く知って頂くための活動を展開してまいります。

